



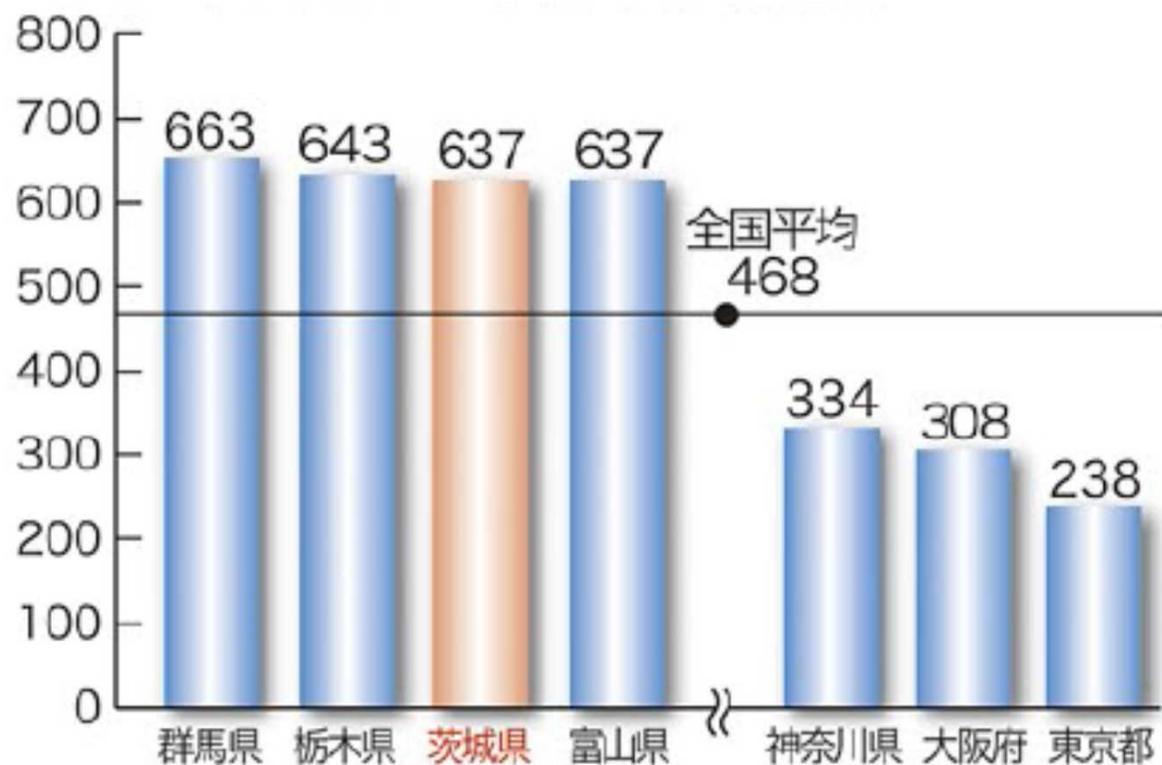
地方版図柄入りナンバープレート制度 検討会に係るヒアリング(説明資料)

日時:平成27年8月27日(木)

場所:中央合同庁舎第3号館11階特別会議室

茨城県・つくば市

人口千人当たり乗用車保有台数



出典：(一財)自動車検査登録情報協会(H26.3末現在)
総務省 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(H26.1.1現在)

◆「つくばナンバー」導入経緯

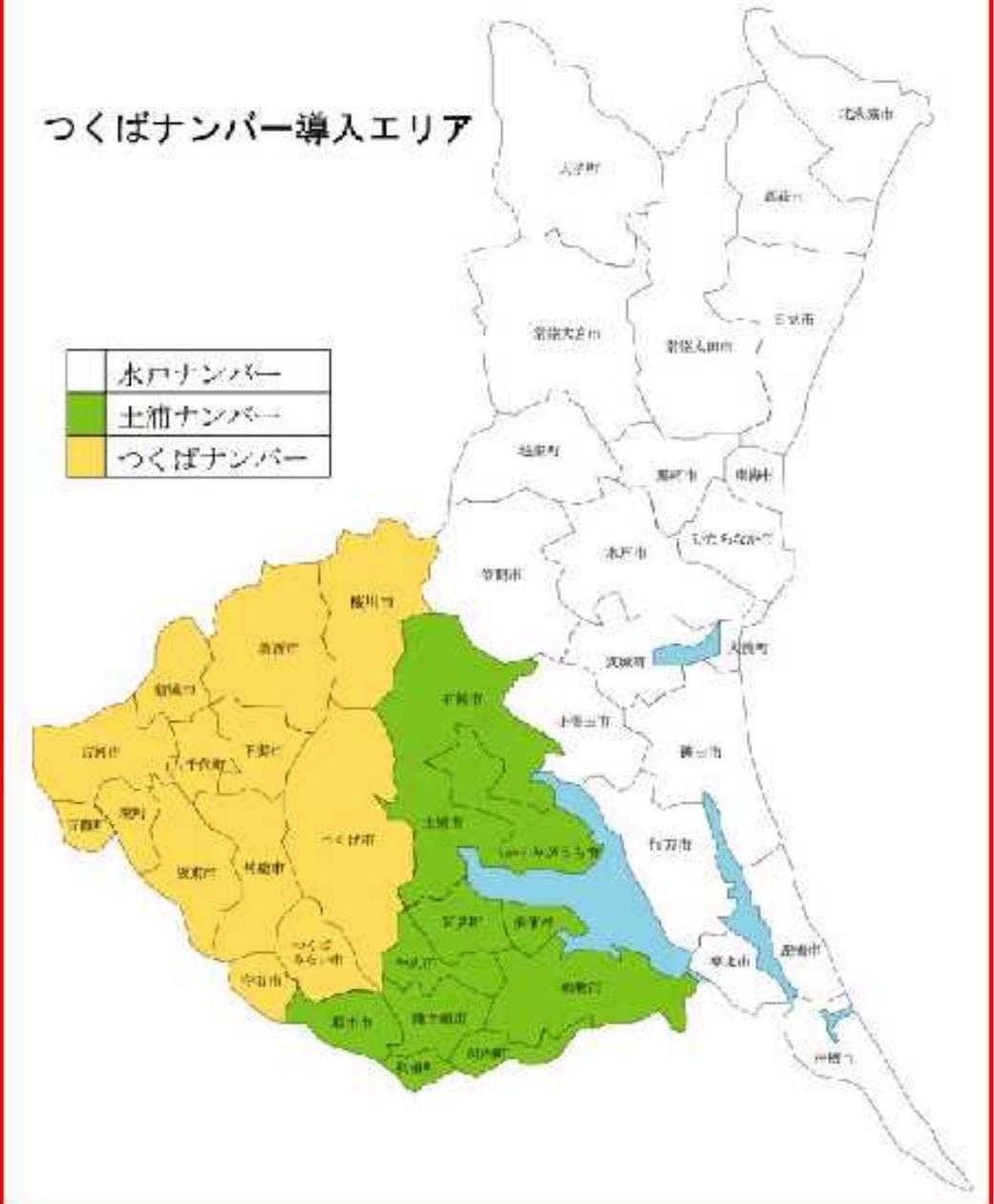


- 平成16年11月30日 国土交通省「新たな地域名表示ナンバープレートの導入について(要綱)」発表
- 平成16年12月24日 「つくばナンバー」の表示を求める意見書可決(つくば市)
- 平成17年4月11日 「つくばナンバー」導入要望書を県知事に提出(20市町村長連名)
- 平成17年5月23日 県から関東運輸局へ要望書を提出
- 平成17年5月30日 関係20市町村長並びに議会議長からなる「つくばナンバー導入推進協議会」を設立
- 平成17年7月8日 「つくばナンバー実現総決起集会」を秋葉原ダイビルで開催 同日中央要望を実施
- 平成17年7月29日 「つくばナンバー」導入を平成18年度中に進める旨 国土交通省発表
- 平成19年2月13日 「つくばナンバー」誕生



つくばナンバー導入エリア

	水戸ナンバー
	土浦ナンバー
	つくばナンバー



【つくばナンバー該当13市町】

(平成27年度現在:市町村合併により変動)

- ・つくば市
- ・古河市
- ・筑西市
- ・結城市
- ・下妻市
- ・常総市
- ・坂東市
- ・守谷市
- ・桜川市
- ・つくばみらい市
- ・五霞町
- ・八千代町
- ・境町



◆「つくばナンバー」登録台数

～平成22年3月末現在～

- 対象地域内車両数 516,295台
- その内, 保有車両数 214,371台 41.52%

～平成27年3月末現在～

- 対象地域内車両数 499,236台
- その内, 保有車両数 339,101台 67.90%

～5年間の推移～

- 対象地域内車両数は, 約1万7千台の減
- 「つくばナンバー」登録台数は, 約12万台の増

◆ヒアリング項目①



【問1】ご当地ナンバーの導入後、地域振興、観光振興、地域の連帯感の醸成等にどのような効果があったとお考えでしょうか。また、ご当地ナンバーを導入後、ご当地ナンバーを活用した地域振興、観光振興等の施策の新たな取り組みがありましたら、具体的にお答えください。

【回答】

ご当地ナンバーを導入したことにより、

- 走る広告塔として、“つくば”の知名度向上に大きな効果があった。
- “つくば”の持つ「研究学園都市(科学の街)」「筑波山(豊かな自然)」「国際的」など良いイメージにより、地域全体のイメージアップに効果があったと考えている。しかし、“つくばナンバー”を導入した地域全体の一体感や直接的な地域振興の効果までには至っていない。

ご当地ナンバー導入後に、

- 地域・観光振興等の取り組みはないが、その他の取り組みとして、つくば市では、つくば中央警察署、つくば北署、つくば市交通安全対策協議会とタイアップして、“マナーアップinつくば”をスローガンに、市内歩道橋にマナーアップ横断幕(10か所)の設置や、交通安全週間を始め随時“マナーアップキャンペーン”(約20回)を実施し、交通安全マナーの意識啓発に取り組んだ。(平成19年に実施)
他市町では、具体的な取り組みは行っていない。

◆ヒアリング項目②



【問2】 地方版図柄入りナンバープレートの効果として、どのようなものが想定されるとお考えでしょうか。また、地方版図柄入りナンバープレートを活用して、どのような取り組みを実施したいとお考えでしょうか。具体的にお答えください。

【回答】

地方版図柄入りナンバープレートの効果として、

- “つくば”のイメージアップ向上による地域振興・観光振興の促進
- 地域住民の郷土意識の醸成
- 若者等の自動車離れの抑制 などが想定される。

地方版図柄入りナンバープレートを活用し、

- “つくば”地域の象徴となる研究学園都市の科学を始め、筑波山の自然、名所旧跡、特産品等の周知PRを行いたい。

◆ヒアリング項目③



【問3】東京五輪特別仕様ナンバープレートと同様、地方版図柄入りナンバープレートの交付に合わせて寄付金を募集することも考えられます。寄付金付き地方版図柄入りナンバープレートの効果として、どのようなものが想定されるとお考えでしょうか。また、寄付金を元にしてどのような事業を行うのがふさわしいでしょうか。具体的にお答えください。

【回答】寄付金付き地方版図柄入りナンバープレートの効果として、

- 地域住民の郷土意識が深まる。
- 寄付金収入による、自治体の財政的な効果も期待される。

寄付金の充当事業として、

- 地球温暖化対策及び環境保全に関する事業。(CO2削減等)
- 道路環境整備に関する事業。
- 地域振興・観光振興に関する事業。
- 地方版総合戦略に位置付けされた事業 などが考えられる。

◆ヒアリング項目④



【問4】図柄入りナンバープレートについて、東京五輪特別仕様ナンバープレートは図柄を最大3種類を国土交通大臣が決定した上で、ユーザーが選択できるようにすることを検討しておりますが、地方版図柄入りナンバープレートについてはどのようにお考えでしょうか。図柄について、複数の種類から選べた方が良いという意見がある一方、種類が増えれば、ナンバーの識別に支障が生じる、提案から選定・交付開始まで相当の期間を要することとなる可能性があるなどの課題があります。

【回答】

- つくば市において、原付バイクナンバーの図柄入りが好評であることから、“つくば”ナンバー対象13市町全ての自治体ごとに図柄があっても良いと考えるが、ナンバーの識別や事務手続きが煩雑になるなど、課題があることも事実かと思う。
- その他関係市町の意見・要望（茨城県ヒアリング結果）
 - ・図柄の提案から選定・交付開始までの期間がかかることが懸念される。
 - ・識別に支障が出るのが懸念される。
 - ・地域全体をPRしている図柄を導入するのであれば、ナンバー導入及び取組み実施の際の効果が高まるのでは。という意見がある。

◆ヒアリング項目⑤



【問5】地方版図柄入りナンバープレート(寄付金付きを含む)の制度設計に対する率直なご意見、ご要望等があればお答えください。

【回答】

- 寄付金については、地方への波及効果が十分伝わるよう、交付税措置ではなく補助金等により還元していただきたい。
- その他関係市町の意見・要望(茨城県ヒアリング結果)
 - ・自治体ごと又は、連携する自治体ごとに、デザインについてある程度の裁量権を持たせると可能性が広がるのではないか。
 - ・行政事務手続きの負担(時間・コスト)が極力軽減される制度にして欲しい。
 - ・対象地域が広く、地域全体で共通の目的を持って寄付金を利用することは困難。寄付金の用途を限定した場合、使いづらくなる可能性がある。
 - ・寄付金の用途により図柄を分け、寄付内容に沿った図柄にしてはどうか。
 - ・どの程度の寄付金が集まるか、導入前に予想を示してほしい。